

Multilingual Electronic Newsletter

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り

Kagoshima Southern Wind Tidings



VOL.186

▽トピックス

1 国際交流員のコラム (鹿児島県国際交流員 スノーデン・ジョセフ)

最南端にある最先端 鹿児島

2 知事の動き

「鹿児島×ベトナム・テトフェスタ」を開催しました
(2月11日)

3 かごしまの国際交流

台湾屏東県を訪問し、同県とMOU(交流協定)を締結しました
(1月22日)

4 観光かごしま旬の情報

フラワーパークかごしま(指宿市)

国際交流員のコラム

●最南端にある最先端●

—鹿児島県国際交流員 スノーデン・ジョセフ（イギリス出身）—

南の宝箱，鹿児島。魅力がこんなにたくさんあるにもかかわらず，人生初の日本旅行の計画は，東京や京都，大阪などを重視する傾向のある，外国人観光客には見落とされがちです。

鹿児島県は首都から遠く，本土の最南端に位置しているからでしょうか。でも，都道府県の中で一番注目を浴びているとは言えなくても，鹿児島は紛れもなく特別です。なぜかというところ，鹿児島県は何世紀にもわたり，最先端でもあります。日本の中でも珍しいほど，先駆的な県です。

想像してみましょう。今は1865年で，薩摩藩の10代の子であるあなたは，羽島の岩だらけの海岸から，海上はるか彼方の水平線を眺めて，これから乗る船の到着を待っています。渡航辞令書では，薩摩の離島の調査としての辞令ですが，本当の使命は違います。鎖国下で，見つければ死の危険を冒してまでも，密航に出発し，数ヶ月をかけて地球の反対側にある異国にたどり着き，そしてそこで日本のためになる知識を身につけることです。



羽島の海



地球の反対側へと
薩摩留学生は日本を出発しました

これはまさに薩摩^{スチューデント}留学生の実話です。西洋技術などを勉強するために，家族に別れを告げ，英国へと旅立ちました。実家を後にし，想像したことのない場所や人，技術などに出会いながら，その勇気のある若者たちは何をどう感じていたのか，私自身もよく思います。

旅の中で目にした多くのことは彼らを驚かせたでしょう。香港の夜空を照らした無数のガス燈，「その速きこと疾風の如し」と驚嘆されたエジプトを縦断する蒸気機関車，そして最終目的地のロンドンでは，世界初の地下鉄。なお，英国が敷設した，インドのボンベイ（現・ムンバイ）までつながっていた海底電信ケーブルのおかげで，ロンドンでの宿泊施設の手

配は英国到着のだいぶ前から済んでいました。これは、羽島でいつ出航できるのか分からずに船を長らく待っていた留学生たちにとって、印象的だったことでしょう。

でも、薩摩留学生の話は決して英国で終わりませんでした。



薩摩留学生たちの集合写真

留学生の多くが帰国し、日本の近代化に重要な役割を果たしました。寺島宗則は神奈川県知事として、東京と横浜を結ぶ日本初の電信機の工事を成功に導くことで、「電信の父」と呼ばれるようになり、外務大臣にも就任しました。五代友厚は大阪経済界の重鎮になり、大阪商工会議所や大阪証券取引所などを設立しました。町田久成は、大英博物館から刺激を受け、東京国立博物館の初代館長に就任するなど、薩摩のこの先駆者たちは日

本の未来を切り開きました。

今も、薩摩留学生の物語はいちき串木野市にある薩摩藩英国留学生記念館で語り継がれています。まさに留学生たちが出発した地に位置しており、この記念館は歴史的な遺物であふれています。鹿児島がなぜ日本近代化の原点になったかを知りたい方には必見です！



薩摩藩英国留学生記念館



しかし、鹿児島県の人々の開拓者精神は歴史に限られていません。未だに感じられます。今日も鹿児島の先駆者たちは上を向いています。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は1960年代以降、鹿児島県に位置している2ヶ所のロケット発射場からロケットを打ち上げ、追跡しています。1つは大隅半島にある内之浦宇宙空間観測所で、もう1つは種子島にある種子島宇宙センターです。人工衛星を軌道に投入できる打ち上げ施設は全国にも、この2ヶ所しかないということで、鹿児島県は「宇宙への玄

関口」でもあります。実は、1970年から地球の周りを公転していた日本初の人工衛星は、打ち上げた地域に因んで「おおすみ」と名付けられました。

このような打ち上げは現在も続いています。私は2023年9月7日に、一瞬前種子島から離陸したロケットが天に向かって空を横切るのを、鹿児島市にある自分のアパートで見ました。数週間、その余韻に浸っており、今もロケットの迫力を鮮明に覚えています。



それから数ヶ月後、私が見たそのロケット物が月

鹿児島の空を飛んだロケット

面に降り立ちました。鹿児島県の離島から打ち上げられた月探査機の「SLIM」（小型月着陸実証機・スリム）が月面着陸に成功し、世界で5カ国目という快挙を成し遂げたのです。



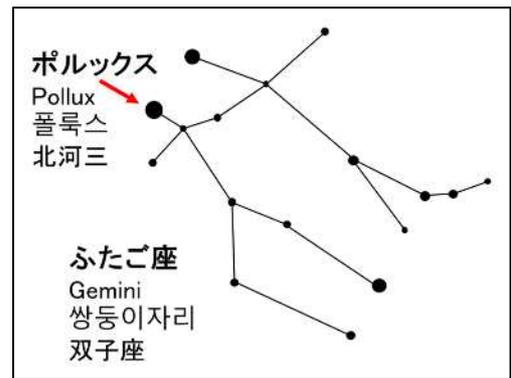
内之浦宇宙空間観測所にある
パラボラアンテナ(左:20m, 右:34m)

月だけにとどまりません。

内之浦宇宙空間観測所の34mパラボラアンテナは1998年に完成しましたが、その頃に送信された電波は約35年間、宇宙空間を通過して光速で突き進んでいます。太陽系から一番近い恒星を通り過ぎたのは2003年でした。そして、去年、ふたご座の最も明るい星（ポルクス）までたどり着いたはずですが、今度、星空を見上げる機会があれば、ふたご座を探してみたいかがでしょうか。鹿児島県を起源とする電波信号がこんなに遠く離れた場所まで届いています。

内之浦宇宙空間観測所は一般の人でも入れるため、私も見学させていただきました。

アンテナを見上げると、周りは静かで電気機器のハム音以外、何も聞こえません。意外かもしれませんが、この静かな場所では、歴史が創られており、新たな道が切り開かれています。大隅半島のこの起伏のある丘陵地帯で、鹿児島県の開拓者精神は今も息づいています。



内之浦宇宙空間観測所

知事の動き

●「鹿児島×ベトナム・テトフェスタ」を開催しました（2月11日）●

「鹿児島×ベトナム・テトフェスタ」を開催しました。本県には、5,000人を超えるベトナム人のほか、様々な国籍の方が暮らしており、外国人の方々が住みやすく魅力的な鹿児島の実現を目指す目的で開催したところです。

オープニングセレモニーでは、幸福を願って鍋を叩くベトナムの新年運だめしに知事も参加して、ベトナムの旧正月（テト）をお祝いしました。ステージイベントでは、ベトナム伝統舞踊や樟南高校書道部による書道パフォーマンスなど、日本とベトナム双方の文化の披露もあり、沢山のベトナムの方々や県民の皆さまにお越しいただき、会場は大いに賑わいました。

また、（公社）2025年日本国際博覧会協会の方にお越しいただき、万博公式キャラクターのミyakumiyakuも登場して、大阪・関西万博をPRしていただきました。

今後とも、ベトナム人をはじめとした在留外国人の方々が地域社会の一員として安心して暮らせる環境づくりに取り組んでまいりたいと思います。



知事による主催者挨拶



万博トークショー



ベトナム民族舞踊

かごしまの国際交流

●台湾屏東県を訪問し、MOU（交流協定）を締結しました（1月22日）●

台湾屏東県を訪問し、同県とMOU（交流協定）を締結しました。周春米屏東県知事は、昨年9月の鹿児島県訪問時の感謝を述べるとともに、今回のMOU締結をきっかけとして、両県の交流の一層の促進を期待すると述べられました。

知事からは、今回のMOU締結を契機として、今後、屏東県と青少年、芸術・文化、観光、経済などの幅広い分野で交流を促進していきたいと話がありました。

また、MOU締結式の記念品として、周知事に鹿児島県産の金柑などを贈り、大変喜んでいただきました。

これまで県産品の販路開拓や観光客誘致の取組については、台北を中心とする台湾北部地域で実施してきたところですが、今後は、MOU締結を契機に、台湾南部地域まで広がっていくことが期待されております。



塩田知事と台湾屏東県の周春米知事



MOU締結



鹿児島県産の金柑を贈呈



記念撮影

観光かごしま旬の情報



写真協力：フラワーパークかごしま

●フラワーパークかごしま（指宿市）●

フラワーパークかごしまは、「花・風・光のシンフォニー」をテーマに、花と緑のふれあいの場所を提供するとともに、消費者と生産者の交流や、魅力ある観光の拠点としても活用することを目的として設立されました。鹿児島県薩摩半島最南端の長崎鼻の近くに位置し温暖な気候と天然の松林に囲まれた地形をいかした世界各地の植物が楽しめる植物公園です。

36.5ヘクタールの広大な敷地に、南アフリカやオーストラリアなどの亜熱帯植物や温帯植物を植栽しています。

開聞岳を背景にした花広場や、鹿児島（錦江）湾を一望できる展望回廊、両サイドに壁のないウインドスルーの屋内庭園やヨーロッパ風の西洋庭園などがあり、温室では色鮮やかなヒメショウジョウヤシ、ヒスイカズラ、メディニラ・マグニフィカなどの熱帯植物が楽しめます。

